

島国であるわが国は、周辺国はじめ他国とは海を介して接しています。四方を海に囲まれ、「海に守られている」ことで国土の安全と海洋資源の確保を行ってきましたが、周辺島嶼部の領有権、領海線の問題等について、周辺国と意見の相違を呈している状況は、今日も解決に至っておりません。

他国と比較してわが国では自国の国土や海洋権益などについての認知度はいまだに低く、また、将来を担う子どもたちが理解できる施設等も当館本館2階展示場「にっぽんの海」コーナーのほかは未整備で十分な啓蒙ができていない状況にあります。そこで当館では、子どもたちから大人まで幅広い年齢層が「日本の海」を理解でき、海をまもる日本の意識をもってもらえるよう本展を企画いたしました。

本展では、国境に接する「まもるべき島々」にスポットをあて、対象とする島々の立体模型を制作・展示するほか、日本の海をまもる仕事についても船の科学館ならではの切り口で触れ、日本海洋権益が及ぶ範囲についての歴史と現状を紹介いたします。

期 間：平成23年8月1日(月)～9月30日(金)

会 場：船の科学館 本館1階 オーロラホール

主 催：船の科学館

協 力：総合海洋政策本部、海上保安庁、
北海道、東京都、島根県、沖縄県石垣市、沖縄県与那国町、
米子市立山陰歴史館、石垣市立八重山博物館、
海洋政策研究財団、
株式会社ヒットロード



チヨウザメの剥製(伝・竹島捕獲「カイラギ」)
(米子市立山陰歴史館所蔵)

展示会場マップ

船の科学館 本館 1F
オーロラホール ※主な展示資料等を表記しています。



尖閣諸島の切手
琉球郵便
海洋シリーズ第3集(海鳥と海と島)
(当館蔵)

尖閣諸島ゾーン

竹島ゾーン

北方領土ゾーン

海上保安庁の任務ゾーン

南鳥島・沖ノ鳥島ゾーン

※期間中、展示物の
入れ替えがある
場合がございます。



絵画「エトロフ遠望 北洋の守り」(昭和18年12月、水彩)
元海軍従軍美術家 高橋賢一郎画(当館蔵)